



民主党千葉県第10区総支部長
前衆議院議員

谷田川はじめ



「雄志」

民主党千葉県第10区総支部
谷田川はじめ後援会

【香取事務所】

〒287-0001 千葉県香取市佐原口2164-2
TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991
Mail:info@hajime-yatagawa.com
HP:www.hajime-yatagawa.com

「雄志」発行10周年 原点を忘れずに

谷田川はじめ後援会ニュースとして、創刊したのが平成16年の7月でした。前年の11月に実施された衆議院選挙で無所属で立候補したものの、1万2千票余りの差で惜敗。浪人生活動を余儀なくされました。落選直後から駅頭活動や支援者回りを精力的に続けていました。しかし、行く先々で「今どうしているのか?」と言つたご質問を異口同音にされるようになり、支援者の皆さんに私の活動内容が十分伝わっていないことを実感するようになりました。

そこで、選挙から8ヶ月が過ぎた段階で定期的に年4回機関紙を発行することを決意。創刊号と第2号は、まだ名称は決定していませんでした。が、第3号から「雄志」と命名。「志」をしつかり持つて、勇敢に行動しようとの決意を示しました。早いもので、それからちょうど10周年となりました。これまで陰に陽にご支援頂

谷田川はじめ後援会ニユースとして、①公儀として働く。②説明責任を果たす。③地域主導の政治にする。このことを肝に銘じてきたからこそ、3年3ヶ月の衆議院議員在職中、地元選出議員として実績を残すことができたと自負しています。特に震災からの復興に関しては誰も真似できないような仕事をしたと思っています。それを十分に一般有権者に伝えることができなかつたことが大きな反省点です。

私の好きな中国の諺に「10年で偉大なり、20年で畏るべし、30年で歴史になる」というのがあります、「これからも「雄志」発行を通じて支援者の方々との絆を深め、20年、30年を目指して懸命に努力して参る所存です。皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

平成二十六年九月

谷田川はじめ

早朝からの駅頭活動

谷田川はじめは、県議選に初挑戦した22年前から、早朝の駅頭活動を続けています。

現在はJR佐原駅、JR成田駅西口、京成成田駅、京成公津の杜駅に毎月立ち、他の主要駅は3ヶ月に一度の割合で立っています。毎月自分の考えをA4版の紙に印刷して、配布しています。

駅で谷田川はじめの姿を見たら、是非お声かけ下さい。今回は5月、6月、7月に配ったチラシを掲載致しました。



JR成田駅西口



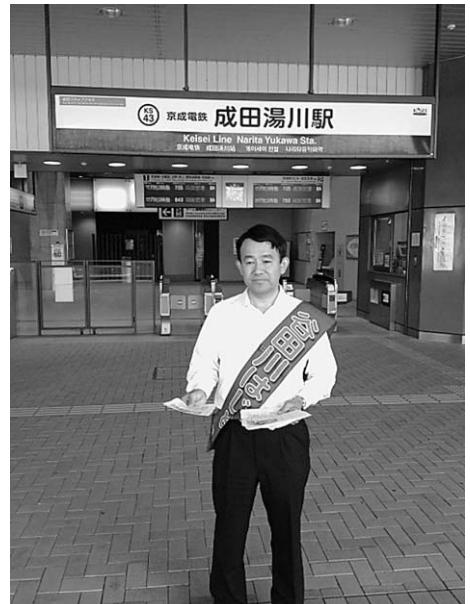
京成公津の杜駅



JR佐原駅



JR八日市場駅



京成成田湯川駅



京成成田駅



JR銚子駅



JR小見川駅

5月のチラシ

自治体消滅の危機！ 千葉10区内でも、若い女性半減

またまた、衝撃的な数字が出されました。民間研究機関「日本創成会議」（座長・増田寛也元総務大臣）は5月8日、地方から大都市への人口流出が現在のペースで続けば、30年間で20代～30代の女性が半分以下に減る自治体が896市町村に上るとの試算を発表したのです。

創成会議は896自治体を「消滅可能性都市」と名付け、将来は地域が崩壊する恐れがあるとしています。すなわち、人口が減り続けると小中学校の統廃合が進み、最後に残った学校でも一つのクラスの編成をするのも困難になります。また、財政も破綻し、数々の行政サービスが維持できなくなり、自治体の運営自体が至難の業になります。

昨年3月に、国立社会保障・人口問題研究所が公表した将来推計人口は、地方から都会への人口流出が徐々に減る前提になっていました。しかし、創成会議は、今のまま流出が止まらないと仮定して、計算し直しました。すなわち、東京などの大都市はこれから急速に高齢化し、医療や介護の人材が大幅に不足します。

一方、地方では高齢者が減少していくため、医療や介護の仕事が少なくなり、その人材が都会へと出てくると分析したのです。

当千葉10区の市町の2010年と2040年の人口数と、若年女性人口の減少率は以下の通りです。

	2010年総人口	2040年総人口	若年女性人口の減少率 (2010→2040)
銚子市	70,210	36,950	-65.4%
成田市	128,933	141,426	-18.4%
旭市	69,058	49,522	-45.1%
匝瑳市	39,814	23,792	-61.4%
香取市	82,866	49,016	-61.1%
神崎町	6,454	4,296	-57.2%
多古町	16,002	9,576	-60.8%
東庄町	15,154	8,120	-68.0%
横芝光町	24,675	14,670	-58.5%

ご覧の通り、成田市を除く市町で人口が大幅に減少し、若年女性人口の減少率も成田市と旭市を除き、5割を超える、創成会議が名付けた「消滅可能性都市」になっています。

この数字はあくまで、都会への流出が近年と同じ水準で2040年まで毎年続くと仮定して計算しています。そうならないためにも、各自治体は、若者が結婚して子育てしやすい環境を整えることが焦眉の急です。結婚しても家族を養うだけの十分な収入を得られる雇用の場を確保することや、育児支援が極めて重要な政策だと思います。

既に千葉10区内のいくつかの市で、人口減に歯止めをかけるために独自の政策を実施しています。旭市では満2歳未満の子どもがいる家庭に無料で紙オムツを支給しています。また匝瑳市では、転入者のマイホーム購入に、中古住宅取得は20万円、新築住宅取得は50万円（市内建設業者が建築した場合は20万円加算）を支給しています。

こういった独自策を各自治体が積極的にできるように、国が財政的支援を行うことを検討すべきではないでしょうか。

6月のチラシ

株価上昇に熱を上げる安倍政権 公的年金の運用見直しへ

6月6日の記者会見で、田村厚生労働大臣は、公的年金積立金の運用の見直し時期について、当初予定していた年末から今秋に前倒しする考えを表明しました。これは安倍総理の強い意向を受けたものです。

厚生年金と国民年金の積立金は、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF Government Pension Investment Fund)によって運用されています。

右グラフにあるように、約129兆円に上るGPIFの運用資産は昨年末まで国内債券が55%を占めています。その割合を減らし、17%にとどまっている国内株式への投資の比重を高めることを安倍政権は目指しています。運用比率が1%上がるだけで、1兆円を超える資金が株式市場に流入することになります。

田村厚労相は、国債価格が下落するリスクを抑えたいと述べていますが、本音は株価維持策ではないかとみられています。

安倍総理は度々株価上昇は、アベノミクスの成果だと強調しています。

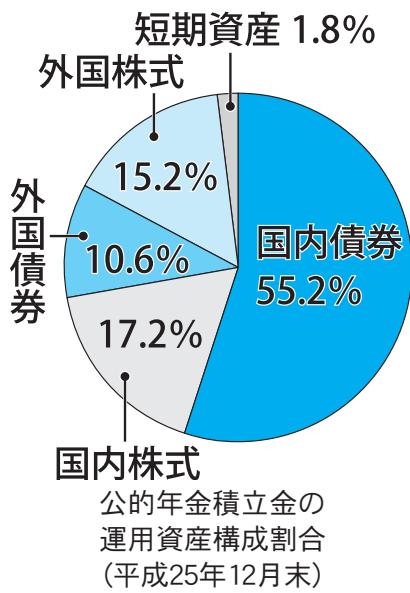
確かに日経平均株価は、野田総理が衆議院解散を表明した一昨年11月14日は8,664円でしたが、昨年5月23日に15,942円まで上昇しました。しかしその後は頭打ちで、6月13日現在で15,097円です。公的年金運用見直しの前倒しは、これ以上なかなか上昇しない株価に、安倍総理が焦りを感じたからではないでしょうか。

日本の公的年金は加入者が出した金を運用して返す「積み立て方式」とは違います。現役世代が払った保険料を、そのまま引退世代に給付するのを基本とする「賦課方式」です。積立金の主目的は、少子化で現役世代が減る場合、あらかじめ多めに管理し、現役が減るのに応じて取り崩して負担増をならすことにあります。最も重要なことは、積立金が安全に運用され、しっかり引退層に渡ることです。

GPIFの前身の年金福祉事業団は、バブル期の不動産や株式への投資で大きな損失を出しました。特に悪名高かったのが、「大規模年金保養基地」という大義もと各地に建設された「グリーンピア」です。年金保険料1,953億円を投じた挙句、売却総額は約45億円となってしまいました。この責任は誰がとったのでしょうか？

今回の公的年金運用の見直しは、どうみても国民の老後資金を大きな危険にさらす投機的行為と言わざるを得ません。

これ以外にも、安倍政権は、派遣労働者を増やし易くしたり、残業代をなくすなどの労働法制の改悪、さらには法人税減税を目指しています。これが実現すれば企業収益が改善され、一層の株価上昇が見込めると考えているのでしょうか。しかし、株価が上昇してもその恩恵を受けるのは、ごく一部の富裕層であり、多くの国民の犠牲を強いることになりかねません。こうした点をしっかりとチェックしていくのが、私ども民主党をはじめとする野党の役割であることを自覚し行動して参ります。



7月のチラシ

日本国憲法の基本原理を蔑ろにする安倍政権

政府は7月1日の臨時閣議で、他国への攻撃に自衛隊が反撃する集団的自衛権の行使を認めるために、憲法解釈を変える閣議決定をしました。これまで歴代の内閣は、集団的自衛権行使することは、日本国憲法第9条がある限り、認められないとの立場でした。それが、180度転換されたのです。これについて私の考えを以下述べたいと存じます。

私は昭和38年の生まれで、現在51歳です。これまでひもじい思いも、戦争による命の危険も感じたことはありません。小さい頃、戦前生まれの父や母から戦争時いかに辛い経験をしたかを聞かされました。そうした経験をすることなく、平和で物質的豊かさに恵まれた日本に生まれ育ったことを深く感謝しています。わが国は第二次世界大戦での多くの犠牲と反省に立ち、平和国家の歩みを続けてきました。その礎となったのが、日本国憲法の制定です。「国民主権」「平和主義」「基本的人権の尊重」が日本国憲法の3つの基本原理であることを小学校の社会科の授業で初めて学びました。その当たり前と言うべき基本原則が、安倍内閣になってから、かなり踏みにじられています。

まず国民主権に関してですが、今回の解釈変更は、安倍総理が「結論先にありき」で人選した懇談会に諮って報告を出させ、その後は与党間の密室協議で調整したうえで、閣議決定するという乱暴かつ不透明なものでした。歴代内閣が集団的自衛権は行使できないとしてきたことを変更する以上は、憲法96条の改憲手続きに則って進めるべきです。すなわち各議院の3分の2以上の賛成で国会がこれを発議し、国民に提案してその過半数以上の賛成が必要です。まさに今回の閣議決定は憲法を無視した国民不在の「暴挙」と言わざるを得ません。

次に平和主義ですが、安倍総理は、湾岸戦争の時に金しか出さなかったと批判されたトラウマから、日米同盟を強化するために集団的自衛権行使できるようにすべきとの考えです。しかし、「専守防衛」に徹し、決して戦争をしかけない国として日本が評価されてきたことを忘れてはなりません。また安倍総理は日米同盟を強化して、抑止力を高めることが平和を維持できるとの見解ですが、抑止力を高めることが相手国との緊張を高めかねないという「安全保障のジレンマ」を肝に銘じるべきです。閣議決定によって日本は平和主義どころか戦争をする国に変貌しかねません。

3つの基本的人権の尊重ですが、安倍総理が2月12日の国会審議で閣議決定による解釈変更の是非について問われ、「最高責任者は私だ。私たちは選挙で国民の審判をうける」と語った時は驚きました。つまり、選挙で選ばれた与党の内閣が憲法解釈を行うのは当然で、その責任者は私だとの論法です。このような言動をする総理の下では、基本的人権すら有名無実になりかねないと危機意識を覚えます。

今後、主舞台は国会に移されることになります。解釈変更の閣議決定がされても、自衛隊法はじめ関連法の改正や新たな法制度がない限り、自衛隊は集団的自衛権行使できないからです。民主党をはじめとする野党は、安倍政権の横暴を跳ね返すことが期待されていると思います。自分もその一員であることを自覚して行動して参ります。



地方選挙での勝利を誓う！

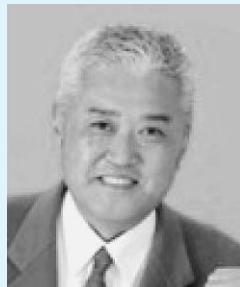
民主党千葉10区総支部定期総会を開催

7月27日(日)午前11時より佐原中央公民館にて、民主党千葉10区総支部定期総会が開かれ、来るべき地方選挙で民主党籍のある全候補者の必勝を期して活動を展開することが確認されました。

候補者は以下の通りです。(敬称略)
皆様のご協力を切にお願い致します。



定期総会で挨拶する
谷田川はじめ総支部長



匝瑳市議会議員選挙 (平成26年10月26日投票日)

やまざき
山崎 ひとし
等 (56歳 当選1回)



成田市議会議員選挙 (平成27年4月26日投票日の見込)

かい ほ
海保 しげ き
茂喜 (60歳 当選3回)



銚子市議会議員選挙 (平成27年4月26日投票日の見込)

かまくら
鎌倉 きん
金 (62歳 当選1回)



イルカウォッチング安全祈願式に出席
鎌子マリーナにて（4/23）



香取地域メーデーで
挨拶（5/11）



岩元会（地元香取市岩ヶ崎後援会）
総会にて決意表明（6/21）



東庄町後援会総会で決意表明（6/28）



佐原高校同窓会栗源支部総会に出席（6/29）



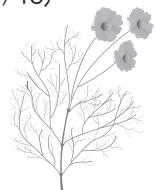
佐原高校同窓会大栄支部総会に出席（6/15）



千葉県トラック協会
香取支部総会に出席（6/28）



成田ジュニアキッズトライアスロン大会で
スターをつとめる（7/19）



2014千葉ビルフィッシュトーナメント
鎌子大会懇親会で挨拶（8/1）



千葉県税理士政治連盟定期大会で
挨拶（8/8）

日本、そして千葉10区をよくするために 谷田川はじめを応援する 輪を広げて下さい！



【谷田川はじめプロフィール】	
昭和38年	1月17日香取市に生まれる
56年	千葉県立佐原高校卒業
60年	早稲田大学政治経済学部卒業
同年	丸紅（株）入社
63年	（財）松下政経塾入塾 在塾中、米国連邦下院議員政策 スタッフとして活動
平成3年	衆議院議員山村新治郎秘書
5年	千葉県議会議員初当選 以後4期連続当選
21年	衆議院議員初当選 拉致問題特別委員会理事 国土交通委員会委員 民主党成田空港ハブ化推進議員連盟事務局長
24年	再選を目指したものの惜敗
【現在】	民主党千葉県第10区総支部長 千葉県ハンドボール協会会長

冠婚葬祭等の情報がありましたら、谷田川事務所までご連絡下さい。
メッセージの手配をさせて頂くとともに、日程調整がつけば、谷田川はじめが顔を出させて頂きます。

○ポスター掲示とご連絡のお願い

左記のポスターをご自宅等に貼らせて頂けませんか？また広報板が倒れていたり、古いポスターのままである時は、下記TELまでご連絡頂ければ幸いです。

○あなたの力を貸し下さい

ポスター掲示、チラシのポスティング、駅頭行動
イベント企画・準備などボランティアスタッフ募集
しています。

○後援会ニュース「雄志」

定期購読会員募集

谷田川はじめと支援者を結ぶ機関紙「雄志」
を年4回発行しています。あなたのご意見を反映
します。

年会費一口2,000円(何口でも可)

購読料のお振込先

郵便振替口座 00110-9-390288 「谷田川元後援会」

次の地域のお知り合いの方を
是非ご紹介下さい。



ご連絡お待ちしています

TEL 0478-54-5678
FAX 0478-52-6991